

コンパニオンバードの病気の兆候

はじめに

鳥の病気の初期の兆候は微妙で簡単に見逃されます。野生では、鳥は捕食されないように病気の症状を隠します。この行動はコンパニオンバードでは逆効果です。飼い主に症状が明らかになる頃までには、病気になってからしばらく経っている可能性があるからです。突然死した様に見える鳥は、大抵しばらくの間、病気であったり病気の兆候を見せていることに飼い主が気付いていません。このため飼い主は、鳥の病気の初期の兆候をよく知る必要があり、ペットの通常の行動の変化に注意する必要があります。病気の早期発見により、迅速な医療処置が可能になり、病気のペットにとってより好ましい結果となります。

排出物の観察

飼い鳥の排出物に見られる変化は、鳥の健康状態の変化の指標になる場合があります。排出物を簡単に確認できるように、鳥のケージと止まり木の下には常にペーパータオルまたは新聞紙を使用してください。排出物の回数、量、色、および一貫性を記録できるように毎日、敷き紙を交換してください。

正常な排出物

鳥の正常な排出物は、その食事と鳥の種類によって見た目が異なります。ほとんどのインコ・オウム類の排出物は、さまざまな量の透明な尿と白い尿酸を伴う緑褐色の糞便で形成されています。ベリー類や着色料を含む食物を食べると、鳥の糞便の色が一時的に変化することがあり、水分の多い食物は尿の量を増やします。

異常な排出物

- 排出物の回数または量の減少
- 尿酸(尿の不透明な部分)の色が白から緑または黄色に変わる
- 形がない糞便(下痢)
- 水分の多い食べ物を食べることに関係なく、尿部分が増加(多尿)する
- 血液の混ざった排出物
- 排出物に強い臭い(朝一番の排出物以外)

状況によっては、軟便でも正常な場合があります。ローリーやロリキートなどの花蜜を食べる鳥は、排出物が水っぽくなります。産卵中の鳥と挿し餌中の雛鳥は一般的に軟便です。同様に、鳥の朝一番の排泄物は、多くの場合、その日の後半の排泄物よりも大きく、形もはっきりしていません。緊張やストレスは一時的にゆるい排出物を引き起こす可能性があります。これはストレスの原因を取り除くと解消します。心配する前に、通常の下でいくつかの排出物を観察することをお勧めします。

体重管理

体重管理することは病気を早期に発見する1つの方法です。飼い主の皆さんにはデジタルスケールで毎週鳥の体重を計ることをお勧めします。急激な体重減少または体重増加は異常です。鳥の体重の大幅な変化(+/- 10%)に気付いた場合、獣医師に相談してください。



コンパニオンバードの病気の兆候

鳥の病気の初期兆候

次の兆候が見られる時、鳥類獣医師の所へ行く必要があります。

- 目の周りの発赤、腫れ、または目の周りの羽の消失
- 鼻孔内または鼻孔周辺の硬い物質
- 鼻孔または顔や排泄口の周りの羽毛の汚れ
- 皮膚またはくちばしの乾燥
- くちばしまたは爪の異常な伸び
- 発声、食習慣の変化または攻撃性の変化
- 折れた羽、曲がった羽、毛引き、または自咬
- 異常なまたは退色した羽色
- 長期の換羽
- 歩行異常または頻繁な体重移動
- 足の裏の痛み

深刻な病気の兆候

次の兆候は重篤な健康状態を示している可能性があるため、獣医師の診察をすぐに受けてください。

- 失血またはけが
- 鼻孔、目、口からの分泌物
- 呼吸困難または呼吸異常音
- 食事量または飲水量の減少または過剰摂取
- 体重減少または体調不良
- 体にできた肥大や腫れ
- 嘔吐または吐き戻し
- 排出物の量と頻度の大幅な減少、または臭いや粘度の顕著な変化
- さえずりや社交性の減少
- 膨らましている、通常よりも寝ている時間が長い
- 発作またはその他の神経学的異常
- 止り木に止まることができない



コンパニオンバードの病気の兆候

救急処置

病気の鳥は、獣医師に診察してもらえるまで、暖かくて静かな環境に置いておくべきです。接触を最小限に抑え、簡単に餌と水が飲める状態にしてください。

温度

ほとんどの病気の鳥の理想的な周辺温度は、摂氏27～29度(華氏80～85度)です。一時的な保育器を作るには、鳥のケージの横または下にヒートパッドを置き、タオル、毛布、またはケージカバーでケージを覆います。暖房器や熱ランプも有用かもしれませんが、過熱を引き起こす可能性があります。ケージカバーが熱源に触れないようにし、使用するワイヤーを鳥が噛まないようにしてください。鳥の呼吸が速くなったり羽を体から遠ざけたりしている時は、温度が高すぎるため下げる必要があります。蒸気や煙を発生するヒーターは、効果よりも害を及ぼす可能性があるため避けてください。

食物/水

病気の鳥は、吐き戻しまたは嘔吐していない限り、食事を取り、飲水し続けることが重要です。餌や水を鳥がいる所から届きやすい場所に置いてください。飼い鳥が馴れているなら手から好きな食べ物をあげられます。温めたスポーツドリンクや経口補水液などの電解質溶液を注射器または点眼器で一滴ずつ与えてもいいでしょう。

回避すべきミス

- 飼い鳥が飲み込む事が出来ない程に弱っている時は、食べ物や液体を鳥の口に入れないでください。
- 飼い鳥のために処方されていない薬や治療薬を与えないでください。
- 明日の様子を見てからにしよう、と待つはいけません。
- 鳥類獣医師に電話するのを躊躇しないでください。

鳥類獣医師との関係を築く

飼い鳥が病気になる前に、鳥類獣医師との関係を築くことは大切です。これにより、鳥の通常の体重、動物病院での行動、鳥の健康状態時の検査結果など、重要なベースラインとなる情報が得られます。また、鳥を診ることが出来る近所の救急時対応動物病院を知っておくことや、家族や友人と電話番号を共有しておくのも良いでしょう。



病理解剖

不幸なことに、あなたの鳥が亡くなり、何が起こったのかを知りたい場合は、動物病理獣医師に診てもらう前に冷蔵する必要があります(冷凍してはいけません)。獣医師は、鳥の死因を特定するために、さまざまな検査を実施します。何が飼い鳥の死の原因で、何がそうでなかったかを知る事は、家族と一緒に暮らす他の鳥の健康と安全を守るためにも重要です。

最後に…

診察のために飼い鳥を獣医師に連れて行く、鳥の行動の微妙な変化に気付く、病気の兆候が見られたらすぐに行動するなど、飼い鳥が長く健康的な生活を送るための重要な要素です。

コンパニオンバードの病気の兆候

AAV: 1980 年以来鳥類の健康管理の基準を設定

鳥類の診療は、鳥を治療し入院させるために特別に設計整備された施設、広範囲な訓練、高度な技術を必要とする類まれで非常に特殊な分野です。鳥類獣医師協会(AAV)は、この特別な知識を獣医師に提供し、鳥の健康に関する最新情報を提供するために設立されました。AAVは、鳥の医学に関する総会を毎年開催し、査読されたJournal of Avian Medicine and Surgeryを発行しています。また、毎年AAVは鳥類保護活動への寄付を行い、鳥類医療の理解を深める研究を後援しています。



さらに詳しい情報のパンフレット

鳥に関する詳細については、動物病院で以下のAAV クライアント・エデュケーション・パンフレットを入手してください。

- 鳥のクラミジア症とオウム病
- ペットバードのための獣医学的ケア*
- コンパニオンバードの基本的なケア*
- 正常な行動と異常行動
- 自宅でのニワトリ飼育
- デジタルスケール
- 毛引き
- 鳥の餌
- ケガ予防と救急医療
- ペットバードの産卵管理
- コンパニオンバードの病気の兆候*
- コンパニオンバードのための紫外線ライト
- 動物病院を受診するのはいつですか?*
- ニワトリにおける動物由来感染症*

*多言語で提供。他のすべては現時点で英語のみ提供。

オンラインリソース

FacebookでAAV(www.facebook.com/aavonline)をフォローしてください。ペットバードの飼い主のための素晴らしいヒントや最新ニュースをお届けしています。Twitter(@aavonline)やYouTubeにもAAVのアカウントがあります。

AAVのウェブサイトwww.aav.orgでは、検索ツールを使って世界中の鳥類獣医師を見つける事ができます。基本的な鳥の飼育方法など、さまざまな資料も提供しています。今すぐ、ウェブサイトをご覧ください!

免責事項:この翻訳された情報は北米の読者のために書かれました。地域および特定の国の規則および規制は異なる場合があります。また、説明されているすべての手順および詳細がお住まいの国や地域で許可されているわけではありません。読者は、提供された情報を読んで実行する前にお住まいの地域の法律が遵守されていることを確認するようお勧めいたします。

